

私が生まれてきたのは、お母さんのためじゃない。
お父さんのためじゃない。
誰かのためじゃない。

私が生きているのは、誰かのためじゃない。
私がごはん食べるのは、誰かのためじゃない。
私が元気になりたいのは、誰かのためじゃない。

私は、私のために元気になりたい。
私は、私のために人生を生きたい。

周りが思うほど、私、弱くない。
子どもじゃない。
ひとりぼっちじゃない。
仲間もいる。

何も出来なく無い。
大丈夫、ちゃんと生きようとしてる。
大丈夫....

私は「私」のために生きていきたい。

Another Voice

私に届いたあなたの声。

橋 ジュン=文
text by Jun Tachibana
KEN =写真
photography by KEN

家族 親戚は嫌ってるし、実家にも帰ってこれないけどあたしのことを生んだ人だからね。求めない方が難しいと思う。でも100%求めている訳じゃない。そこまでは必要ないんだ。少しいいからあたしを心配して気にかけてほしいだけ。
中学の頃から気づいてほしくていろいろやったんだけど、全く意味なかった。ただあたしの過去が汚れただけ。だからわかってるんだ。あたしが求めても相手はあたしのことなんか眼中にないんだってこと。

でも求めている自分いる。たぶん母親から卒業しなきゃあたし前に進めない。憎むのはやめれないと思う。確かに大事な人だけど、そこは変えれない。殺そうとした人を憎まないなんてできない。あたしそこまで人でできてない。

お母さん自身もあの時、苦しいのはわかってたけど、その矛先をあたしに向けてほしかった。そうしたら今ごろは夜寝れてきつと、社会人なれていて、精神科に通院することもなかったと思う。やっぱり恨まず憎まずは無理だよ。あたしをこうした原因の根底にあるのお母さんだもん。いつかの理想のために今、頑張らなきゃね。

21歳・Y

あの子にとって親は母親の私しかないと思ってたから、離婚してシングルマザーになっちゃったけど、あの子が一番構ってほしかった時期に自分は体調崩して入院を繰り返して、寂しい思いをさせてしまつて。入院しているときは母親や父親、祖母や姉が、娘の面倒を見てくれて育児に協力してくれただけど、でも私がいなくても成り立つちゃう家族が。私なんかいなくてもいいんだって入院する度に感じてしまつて。常に孤独だった。娘がいるのに、なんでって自分を責めたり、言うこと聞かない娘に対してパニックになって、無意識に娘を叩いてしまつたり。周りのママのようになんで普通の親になれないのかって苦しめた。娘を可愛いつて思えるようになったのはこの一年くらい。自分に余裕がないと優しくできないものなんです。死んだら悲しいって思ってくれる人がいるだけでも、私はそれだけで幸せです。

28歳・N

中3の受験のころにわたしのせいでばばを何度も怒らせて殴られる蹴るが一時当たり前のような時期もありました。きつと虐待まではいかないんですが、わたしの言葉の悪さや態度、なまけてる姿をみるとばばは怒ってしまいます。自分が親だったら確かにこんな娘は嫌だろうけど、橋の横に車を止められて「ここから落ちて死ね」と言われ「お前は高校にはいかせない」と言われ、土下座して高校に行かせてくださいと、お願いした時もありました。ですがその時は息もできないくらい蹴られ続けました。溜まつてたビデオを見ていて毎日のようにだらだらすかし寝るのが夜中の1時や2時過ぎになってしまつた時は、ばばがわたしが寝ようとした時に捕まえて殴ったり蹴ったりしてきました。「こんな娘はいらない」と言われた言葉がいつまでも残っています。

手術無事終わったよ
悩んでる
こんなの初めてつくくらい自分の将来について
今私は社会福祉士になる大学で勉強してる興味がないわけじゃない
でも、今の大学に入ったのは家から出たかったから
中学も不登校、高校も休みがち現実的にこんな自分が合格出来る大学は決して多くはなかった
こうなりたい！とかこんな仕事をしたくない！なんて思いはなくて
今も不安にならないわけじゃない、毎日怖いし消えなくなることもあり
けど、就活や国試を目の前にして将来を考えるようななかった
真つ白すぎて、自分は何かしたいんだらうって何かしたいことが見つかったとしても
きつと、親が反対するだらうなって真つ先に思つたり反対されたり
不登校だった自分が学力的にも無理だらうなって
こんな自分が何かこれからしたいなんて
大学までいれてもらったのにつけて
怖かった
声を出す前に諦めてた
でもね、病気になるって入院や手術をするようになって
看護師さんが優しくした
仕事なんだろうけど
いつもニコニコしてた
夜勤もあるから生理が全然来ないこともあった
なあ

て話しながらそれでもニコニコでどこかあったかくて
親には、心配されたり干渉されたりはするけど家でほつとする時なんてなかったから
看護師さんが話を聞いてくれたりしたとき初めてほつとした
友達や親の前ではいつも笑わなきゃって顔をこぼして
ある看護師さんと話して初めて無になつた
その看護師さんは何も言わなかった
初めての感覚
そう、安心したのかな
いつも気をはつて
こうしなきゃあしなきゃやしてたからほんとにほんとに初めて
看護師になりたいとか、そういうじゃないかも
しれない
何かになりたいって明確にあるわけじゃない
それでも、この人のように誰かに安心を与えられるような人になりたいって思つた
わたしは決して偏差値が高い大学に入ったわけじゃない
福祉という新たな学問で
英語や数学とかが大学入ってからあまり使わない分野だったから
今の成績になれた
将来のためにてよりは
勉強をするのはやつたことが数字がかわる目に見えるから
うれしとかやつたあ
とかそんなの一切なかった
親が笑顔でいてくれればそれでいいって感じ
きつとね、卒業後は実家に戻ることになると思
う
怖いし、嫌だなんて気持ちはある
けど、1年後とか2年後とかじゃなくても

ただ話したかったのもあったし、家族とうまくいかなかったりだつたから。愛情みたいなものがほしかったのかも。体の関係もあつた。
最初は抵抗あつたけど、途中からあんまり抵抗なくなつた。けど不安はあつた。知らない人だし、妊娠や病気とか怖かった。最初は「嫌って言うだけ、何で？」って言われて、あんまりうまく言えなかった。「なんでだろう」と思つてしまつて。
母からの暴言のこと、友達に相談してたけど、エスカレートして「虐待されてる」物投げられて」とか、本当に物は投げられてたけど、おおげさに言つてしまつた。ご飯も作つてもらつてなかつた。
友達が心配してくれて、ご飯持ってきてくれたりしてたけど、学校に伝わって、母が呼び出されて。
「そんな事ないです」って母が言つて。そしたら私が言つたことが、全部嘘のようになってた。
母から「そんな事ないです」って母が言つて。そしたら私が言つたことが、全部嘘のようになってた。
母から「そんな事ないです」って母が言つて。そしたら私が言つたことが、全部嘘のようになってた。

17歳・Y

23歳・A

16歳・M

いつかは私の、私が思う道を歩いてもいいよね？
それが何かは正直分からないし最近福祉の勉強しても
今まで見ないようになってきたせいか
虐待とか発達段階のこととか
聞くこと全てが初めてのことばかり
まだまだよく分からない
けど、たつた21年だけ
こんなぐちゃぐちゃ人生だったから
大学入学から今までの勉強は必死にやつたんだ
入つた理由は逃げるためだけ
私ね、自分が頑張ってるなんて思っちゃいけない
と思つた
こんなんで頑張ってるなんて馬鹿がましい
やつて考えてた
今も、思つてる
だけどね、ちょっとだけ
わたし頑張つたかも
もうこれ以上頑張つてなんて言わないで
そんな気持ちになつた
自信なんて何にもなかった
けど、心のはしっこで
努力をする自信はあるって思つた
わたしが大学3年間でしてきた勉強は無駄じゃ
なかったのかな
学力だつて入試の点数じゃ最下位に近かつた
だから、そこから勉強をした
これから努力をする自信はある
いつかは、私の思う道歩いてもいいよね？
何かを新たに学びたいっていつか思つても遅くはないよね？

21歳・M